

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市民公園①			No.	75
大分類	11公園				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針	
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	【プール・テニスコート・弓道場・ちびっこ広場等】 現在も一部施設（野外音楽堂など）については、利用率が低下し廃止すべきと考えられるが、廃止時期等については検討が必要である。また、将来的に施設の更新 や建替えの際には、必要な機能を維持した上で、規模縮小が可能なものは縮小する必要があると考えている。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2025年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	プール濾過循環配管漏水修繕、球場グラウンド整備（29年度） 弓道場ブロック塀改修（令和3年度）		今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを回りつつ、ニーズを踏まえて、規模縮小、廃止の時期等の検討を進める予定である。野外音楽堂については、概ね2023年度内には長寿命化計画の見直しに併せて方向性を決定する予定である。
第2期	2022年度 複合遊具改修、野球場内外野整備 維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2023年度 公園施設長寿命化計画の見直し 維持管理のための必要な軽微修繕		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和50年
建物延面積	499.14 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.32
摘要欄	複数の施設あり

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	公園内にある野外音楽堂は廃止を原則とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	37,468円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	4,700,000円		国・県等からの補助金や助成金を計上する。	
	③その他	4,850,000円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		9,587,468円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	9,611,000円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	14,065,860円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,423,658円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		26,100,518円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-16,513,050円	市民一人あたり税金充当額	-508円/人
	延床面積あたり税金充当額		-33,083円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-45,241円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		30,349	32,606	27,098	32,237	31,891	30,836	103%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市民公園②			No.	76
大分類	11公園				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針	
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	【代官山動物園等】 大田市唯一の動物園として長年大田市民に親しまれてきた。しかしながら建設から50年以上経過し、施設も老朽化しており、近い将来建て替えが必要である。今後も市民の憩いの場として利用が見込まれるものの、建て替え等の際には、施設数を縮小するなど施設規模を見直す必要があると考えている。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの 取り組み 状況	指定管理による動物舎、管理事務所等の修繕（毎年度） ・ヤギ小屋修繕（30年度）、ブタ小屋柵修繕（29年度）、鶏小屋鉄骨修繕（28年度）ウサギ小屋改修（2年度）等		今後も適切な維持管理を行いながら、施設の方向性について必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて検討を進める。概ね2021年度内には特に老朽化が進んでおり、利用頻度の低い施設についての方向性を決定し、その他は長寿命化計画見直しに併せ検討する予定である。
第2期	2022年度 維持管理のための必要な軽微修繕 動物舎撤去1棟	目標・取り組み を達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理をするとともに、利用のなくなった動物舎1棟の撤去を行った。
	2023年度 維持管理のための必要な軽微修繕 ヤギ小屋水路改修		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 32 年
建物延面積	435.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
ls値	0.32
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	公園管理棟をはじめ、東屋、畜舎などは、必要最小限の建替えを行う。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	267,500円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	2,700,000円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,967,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	6,257,000円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	239,800円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,596円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		6,498,396円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,530,896円	市民一人あたり税金充当額	-109円/人
	延床面積あたり税金充当額		-8,117円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-9,674円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田総合体育館		No.	77	担当部署名	建設部都市計画課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	屋内スポーツ施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針			
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度	改定・見直し 時期
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	広域圏施設として今後も維持していきたい。2018、2019年度にはアリーナの耐震化を行い、施設の長寿命化を図った。なお、施設の更新（建て替え）にあたっては、同規模以上、且つ機能の充実が必要だと考えている。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2019年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 総合体育館改修設計（29年度）耐震改修（30,1年度） 非常用発電機更新（29年度） 空調設備改修（2年度）		2018年11月～2019年6月の耐震改修工事により当面は建替えの必要がないため、工事完了の2019年度で評価達成とする。当面は長寿命化計画に基づき、適切な維持管理を行っていく予定である。
第2期	2022年度	維持管理のための必要な軽微修繕 目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2023年度	維持管理のための必要な軽微修繕	
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 57 年
建物延面積	4,551.32 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	0.32 (競技棟)
摘要欄	一部急傾斜地の崩壊警戒区域内、特別警戒区域内に立地 管理植は耐震有り (Is値1.04)

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	15,840円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		15,840円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	23,570,000円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	185,944円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		23,755,944円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-23,740,104円	市民一人あたり税金充当額	-730円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5,216円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-65,041円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
		あり							
年間利用人数			41,039	38,634	23,390	29,121	30,723	32,581	94%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	榊島公園		No.	78	担当部署名	建設部都市計画課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	野外スポーツ施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針			
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度	改定・見直し 時期
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	屋外トイレは建設から37年が経過しており老朽化も進んでいる。利用率は低いため、廃止を検討したい。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2043 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	施設の維持管理（毎年度）		老朽化が進行しているが、当面使用可能であり、今後も適切な維持管理を行っていく。長寿命化計画見直し時に当面の方向性を決定する予定。また、建て替え等が必要な時期までには、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえた上で、対策を実施する。
第2期	2022年度	維持管理のための必要な軽微修繕 目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2023年度	維持管理のための必要な軽微修繕	
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 54 年
建物延面積	118.12 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.88
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	31,095円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		31,095円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	22,000円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,526,383円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		4,548,383円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-4,517,288円	市民一人あたり税金充当額	-139円/人
	延床面積あたり税金充当額		-38,243円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-12,376円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	760	347	100	331	2,508	809	310%		

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津総合体育館			No.	79	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設					
小分類	屋内スポーツ施設					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針		
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由	

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	本施設は耐震上の問題はなく、当面の使用に耐える施設である。また、安定した利用があり、避難所にも指定されているため、当面は使用していく予定である。ただし、他用途との複合化なども今後は検討していく必要があると考えている。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2039 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の維持管理（毎年度） 非常用放送設備更新（1年度） 自動火災報知設備・2階非常口扉修繕、消火栓ホース交換（2年度）		老朽化が進行しているが、耐震上の問題もなく当面使用可能であり、今後も適切な維持管理を行っていく。長寿命化計画見直し時に当面の方向性を決定する予定。また、建て替え等が必要な時期までには、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえた上で、対策を実施する。
第2期	2022年度 維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2023年度 維持管理のための必要な軽微修繕		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 56 年
建物延面積	2,260.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.88
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	493,001円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		493,001円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	845,900円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,568,036円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,413,936円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,920,935円	市民一人あたり税金充当額	-90円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,292円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-8,003円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	11,224	9,151	4,707	7,266	10,011	8,471	118%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第2柳ヶ坪住宅		No.	80	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅				ブロック	中央		
小分類	公営住宅				地区	大田		
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	昭和40年度に建設された施設であり、既に公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。大田市営住宅長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向や負担を十分に考慮し、移転協議を進める							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	入居者の意向確認								
	入居者の移転先確保								
	入居者の移転								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を未実施。(平成21年度～) 大田市住宅マスタープラン策定(令和2年度) 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定(令和3年度)		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または、民間借上賃貸住宅の活用を図り、入居者の移転等を進めていく。
第2期	2022年度	用途廃止による入居者説明会・意向調査	目標・取り組みを達成	用途廃止にあたっては、個別に意向調査を実施。また自治会で用途廃止に伴う移転計画を説明した。
	2023年度	民間賃貸住宅を確保するため、不動産業者に計画説明を行い、スムーズに移転できるように進めていく。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 41 年
建物延面積	647.94 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
ls値	-
摘要欄	洪水浸水地域 (0.5~3m)

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法(昭和26年法律第193号。以下「法」という。)に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法(昭和22年法律第67号)並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	254,400円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		254,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	19,800円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		19,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		234,600円	市民一人あたり税金充当額	7円/人
	延床面積あたり税金充当額		362円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	643円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営第2新諸友住宅		No.	81			
大分類	10公営住宅						
小分類	公営住宅						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内へのアクセスがしやすく、今後の需要も見込まれる。また廃止予定住宅の移転先として検討しており、2019年度には、社会資本整備総合交付金の活用により、外壁改修工事を実施しており、今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
	下水・給湯設備設計・工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	第2期大田市住宅マスタープラン策定（令和2年度） 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定（令和3年度）		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	用途廃止による移転先住宅として改修を検討 個別修繕の実施	目標・取り組みを達成	R7に下水接続、給湯設備改修設計・R8に工事を予定
	2023年度	用途廃止による移転先住宅として改修 個別修繕の実施		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 53 年
建物延面積	554.70 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.04
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,099,800円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,099,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	515,020円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		515,020円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		584,780円	市民一人あたり税金充当額	18円/人
	延床面積あたり税金充当額		1,054円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	1,602円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営第3新諸友住宅		No.	82			
大分類	10公営住宅						
小分類	公営住宅						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内へのアクセスがしやすく、今後の需要も見込まれる。また廃止予定住宅の移転先として検討しており、2019年度には、社会資本整備総合交付金の活用により、外壁改修工事を実施しており、今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
	下水・給湯設備設計・工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	第2期大田市住宅マスタープラン策定（令和2年度） 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定（令和3年度）		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	用途廃止による移転先住宅として改修を検討 個別修繕の実施	目標・取り組みを達成	R6に下水接続、給湯設備改修設計・R7に工事を予定
	2023年度	用途廃止による移転先住宅として改修 個別修繕の実施		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 54 年
建物延面積	554.70 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.04
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,378,800円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,378,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	138,600円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		138,600円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		1,240,200円	市民一人あたり税金充当額	38円/人
	延床面積あたり税金充当額		2,236円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	3,398円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営長久住宅		No.	83			
大分類	10公営住宅						
小分類	公営住宅						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内の施設へのアクセスがしやすく、今後も需要が見込まれる。長久住宅は2013年度に社会資本整備総合交付金を活用し、大規模改修(給湯設備、下水道接続)を行った。また2021年度に、第2期大田市長寿命化計画に基づいて、大規模改修(外壁改修)を行った。今後も引き続き維持管理を行う必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	第2期大田市住宅マスタープラン策定（令和2年度） 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定（令和3年度） 市営住宅外壁改修工事（令和3年度）		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。 社会資本整備総合交付金を活用し、外壁改修工事を行い、長寿命化を図った。
第2期	2022年度	個別修繕の実施	目標・取り組みを達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕の実施		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 56 年
建物延面積	631.40 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.04
摘要欄	洪水浸水地域 (0.5m)

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,916,400円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,916,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,026,520円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,026,520円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		889,880円	市民一人あたり税金充当額	27円/人
	延床面積あたり税金充当額		1,409円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	2,438円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営山崎住宅		No.	84			
大分類	10公営住宅						
小分類	公営住宅						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内の施設へのアクセスがやすく、今後も需要が見込まれる。山崎住宅は、2017年度社会資本整備総合交付金を活用し、大規模改修（給湯設備・下水道接続）を行っており、今後も維持管理する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 大田市住宅マスタープラン策定（H22） 大田市長寿命化計画策定（後期計画）（H28） 給湯設備・下水道工事（H29）第2期大田市営長寿命化計画策定		大田市長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。 大田市長寿命化計画により、社会資本整備総合交付金を活用し、下水・給湯設備改修工事を行い、長寿命化を図った。
第2期	2022年度 個別修繕の実施	目標・取り組みを達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度 個別修繕の実施		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 57 年
建物延面積	653.84 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.15
摘要欄	土石流警戒区域に立地

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	2,101,200円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,101,200円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	105,930円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		105,930円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		1,995,270円	市民一人あたり税金充当額	61円/人
	延床面積あたり税金充当額		3,052円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	5,466円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営高禪寺住宅		No.	85	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅				ブロック	西部		
小分類	公営住宅				地区	長久		
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内への施設へのアクセスがしやすく、今後も需要が見込まれる。また高禪寺住宅は2018年度において、社会資本整備総合交付金を活用し大規模改修(外壁等改修)を行っており、施設の長寿命化計画を実施した。今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定（H22） 下水道工事（H24） 大田市営住宅長寿命化計画（H28） 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定（R3）		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	個別修繕の実施	目標・取り組みを達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕の実施		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 62 年
建物延面積	535.48 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入	2,070,000円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,070,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	116,600円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		116,600円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		1,953,400円	市民一人あたり税金充当額	60円/人
	延床面積あたり税金充当額		3,648円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	5,352円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営松山住宅		No.	86			
大分類	10公営住宅						
小分類	公営住宅						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	温泉津町内における住宅困窮者向けの住宅として、今後も維持管理していく。2015年度に社会資本整備総合交付金を活用し、給湯設備、下水道接続を行っている。また、2022年度は第2期大田市長寿命化計画により、大規模改修(外壁改修)を予定しており、引き続き維持管理していく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
	外壁改修工事								
評価が達成される年度		2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定（H22） 大田市営住宅長寿命化計画（H28） 給湯設備、下水道接続工事（H29） 第2期大田市営住宅長寿命化計画策		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	社会資本整備総合交付金を活用し、外壁改修工事（A～C棟）を行った。	目標・取り組みを達成	長寿命化計画どおり、改修工事を行い達成できた。
	2023年度	社会資本整備総合交付金を活用し、外壁改修工事（D～E棟）を行う。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 54 年
建物延面積	2,418.93 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.04
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	5,756,700円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	15,297,000円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		21,053,700円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	41,616,695円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		41,616,695円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-20,562,995円	市民一人あたり税金充当額	-632円/人
	延床面積あたり税金充当額		-8,501円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-56,337円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営松山住宅（集会所）		No.	87
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の策定予定の有無	策定しない場合理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	市営松山住宅入居者のため集会所として建設された。現在は、地元で管理運営を行っており、市による利用実績なし。地元自治会に譲渡することで施設の自由な利用が可能となり、地元のメリットにもなるため、地域移管を進める。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期(2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		集会所及び周辺について、自治会員の高齢化により、維持管理が困難であり、市に管理を要望されたが、引き続き自治会で管理する。
第2期	2022年度	進捗していない	自治会員の減少など維持管理も困難な状況で、譲渡に向けた話し合いが進んでいない。
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 55 年
建物延面積	80.64 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.04
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅集会所管理要綱
設置(目的等)	集会所は、市営住宅入居者（以下「入居者」という。）の共同の福祉、厚生及び文化教養等の場として諸行事を行うために使用させるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営日ノ本住宅		No.	88	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	公営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	仁摩町内の住宅困窮者向けの住宅として、今後も維持管理を行う。2020年度に社会資本整備総合交付金を活用し、大規模改修（外壁改修）を行った。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定 (H22) 給湯設備、下水道接続工事 (H26) 大田市営住宅長寿命化計画 (H28) 外壁改修工事 (R2)		R2社会資本整備総合交付金を活用し、日ノ本住宅外壁改修工事を行った
第2期	2022年度	個別修繕	進捗していない	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 54 年
建物延面積	729.18 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.03
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入	2,086,800円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,086,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		2,086,800円	市民一人あたり税金充当額	64円/人
	延床面積あたり税金充当額		2,862円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	5,717円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	山崎公園			No.	89
大分類	11公園				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針	
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	①廃止
『該当する』を 選択した理由	本公園は、西部土地区画整理事業で作られた公園のひとつであり、建設から30年以上経過している。公園内のトイレについては、2023年度に廃止する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2023年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	施設の維持管理（毎年度）		老朽化が進行する中、利用も少ない状況であり、公園施設廃止について検討を進める必要がある。その中でトイレについては、2023年度に廃止する。
第2期	2022年度 維持管理のための必要な軽微修繕 トイレ解体に向けてのアスベスト調査	目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理をするとともに、施設の方角性について検討した結果、公園内のトイレについて廃止することとし、解体に向けたアスベスト調査を行った。
	2023年度 維持管理のための必要な軽微修繕 トイレ解体工事		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 61 年
建物延面積	5.60 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域、特別警戒区域内に立地

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	141,900円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	574,136円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		716,036円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-716,036円	市民一人あたり税金充当額	-22円/人
	延床面積あたり税金充当額		-127,864円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,962円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久公園（便所）			No.	90
大分類	11公園				
小分類	その他				
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	あり	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針	
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度
無	策定期限		今後の策定予定の有無	策定しない場合理由	

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	隣接に保育園や新たな宅地造成などもあり、今後も必要な公園である。ただし、公園のトイレについては老朽化も著しいため、廃止する。また、場合によっては近隣の保育園など民間への譲渡も検討対象である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期(2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2024年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の維持管理（毎年度） トイレ臭突管修繕（2年度）		今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて、廃止の時期等の検討を進める。概ね2023年度内には長寿命化計画の見直しに併せて、方向性を決定する予定である。
第2期	2022年度 維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2023年度 維持管理のための必要な軽微修繕		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 61 年
建物延面積	1.57 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	洪水浸水地域 (0.5m未満)

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	2,860円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,860円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	534,989円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		534,989円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-532,129円	市民一人あたり税金充当額	-16円/人
	延床面積あたり税金充当額		-338,936円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,458円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	石見銀山公園			No.	91
大分類	11公園				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針	
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	世界遺産の石見銀山遺跡にとって必要な公園であり、今後も維持していく必要がある。ただし、利用率の低い一部施設については廃止するなど、管理施設数の規模縮小を検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通 項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
独自								
評価が達成される年度		2024年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	休憩所・展望台等改修（26年度） トイレ浄化槽臭突管設置（28年度） 木柵修繕、改修（28,29年度）		今後も適切な維持管理を行いながら、施設の方向性について必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて検討を進める。概ね2023年度内には長寿命化計画の見直しに併せて、特に老朽化が進んでいる施設の方向性を決定する予定である。
第2期 2022年度	木製施設改修等、休憩所修繕 維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
2023年度	清水寺前トイレ・休憩所改修設計 維持管理のための必要な軽微修繕		
2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 61 年
建物延面積	446.06 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	土石流警戒区域、急傾斜地の崩壊警戒区域・特別警戒区域内に立地

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	119,165円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	14,600,000円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	13,150,000円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		27,869,165円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	28,168,800円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	12,749,871円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		40,918,671円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-13,049,506円	市民一人あたり税金充当額	-401円/人
	延床面積あたり税金充当額		-29,255円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-35,752円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第3柳ヶ坪住宅		No.	92			
大分類	10公営住宅						
小分類	公営住宅						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	昭和45年度に建設された住宅であり、既に公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。市営住宅長寿命化計画により、用途廃止としており、入居者の意向を踏まえ、移転を進めていく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	入居者の意向確認								
	入居者の移転先確保								
	入居者の移転								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を未実施。(平成21年度～) 大田市住宅マスタープラン策定(令和2年度) 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定(令和3年度)		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または、民間借上賃貸住宅の活用を図り、入居者の移転等を進めていく。
第2期	2022年度	用途廃止による入居者説明会・意向調査	目標・取り組みを達成	用途廃止にあたっては、個別に意向調査を実施。また自治会で用途廃止に伴う移転計画を説明した。
	2023年度	民間賃貸住宅を確保するため、不動産業者に計画説明を行い、スムーズに移転できるように進めていく。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 46 年
建物延面積	361.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.62
摘要欄	洪水浸水地域 (0.5~3m)

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法(昭和26年法律第193号。以下「法」という。)に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法(昭和22年法律第67号)並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	127,200円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		127,200円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		127,200円	市民一人あたり税金充当額	4円/人
	延床面積あたり税金充当額		352円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	348円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第4柳ヶ坪住宅		No.	93	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	公営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2031年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	昭和45年度に建設された住宅であり、既に公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。市営住宅長寿命化計画により、用途廃止としており、入居者の意向を踏まえ、移転を進めていく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	入居者の意向確認								
	入居者の移転先確保								
	入居者の移転								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を未実施。（平成21年度～） 大田市住宅マスタープラン策定（令和2年度） 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定（令和3年度）		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または、民間借上賃貸住宅の活用を図り、入居者の移転を進めていく。
第2期	2022年度	用途廃止による入居者説明会・意向調査	目標・取り組みを達成	用途廃止にあたっては、個別に意向調査を実施。また自治会で用途廃止に伴う移転計画を説明した。
	2023年度	民間賃貸住宅を確保するため、不動産業者に計画説明を行い、スムーズに移転できるように進めていく。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 47 年
建物延面積	361.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.62
摘要欄	洪水浸水地域 (0.5～3m)

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	132,000円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		132,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		132,000円	市民一人あたり税金充当額	4円/人
	延床面積あたり税金充当額		365円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	362円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	沢田住宅		No.	94	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	公営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	昭和47年度に建設された住宅であり、すでに公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。市営住宅長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向調査を行い、移転等を進めていく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	入居者の意向確認								
	入居者の移転先確保								
	入居者の移転								
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を未実施。(平成21年度～) 大田市住宅マスタープラン策定(令和2年度) 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定(令和3年度)		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または、民間借上賃貸住宅の活用を図り、入居者の移転等を進めていく。
第2期	2022年度	用途廃止による入居者説明会・意向調査	目標・取り組みを達成	個別に意向調査を実施。
	2023年度	民間賃貸住宅を確保するため、不動産業者に計画説明を行い、スムーズに移転できるように進めていく。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 48 年
建物延面積	361.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.78
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法(昭和26年法律第193号。以下「法」という。)に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法(昭和22年法律第67号)並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	346,800円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		346,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	93,258円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		93,258円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		253,542円	市民一人あたり税金充当額	8円/人
	延床面積あたり税金充当額		702円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	695円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第2沢田住宅		No.	95	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅				ブロック	東部		
小分類	公営住宅				地区	久手		
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	昭和48年度に建設された住宅であり、すでに公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。市営住宅長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向調査を行い、移転等を進めていく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	入居者の意向確認								
	入居者の移転先確保								
	入居者の移転								
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 退去のあった住宅を政策空家とし、募集を未実施。(平成21年度～) 大田市住宅マスタープラン策定(令和2年度) 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定(令和3年度)		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または、民間借上賃貸住宅の活用を図り、入居者の移転等を進めていく。
第2期	2022年度	目標・取り組みを達成	個別に意向調査実施
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 49 年
建物延面積	379.85 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.75
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	224,400円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		224,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	29,700円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		29,700円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		194,700円	市民一人あたり税金充当額	6円/人
	延床面積あたり税金充当額		513円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	533円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	新諸友住宅		No.	96	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	公営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	昭和51年度に建設された住宅であり、すでに公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。大田市長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向調査を行い、移転等を進めていく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	入居者の意向確認								
	入居者の移転先確保								
	入居者の移転								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 退去のあった住宅を政策空家とし、募集を未実施。(平成21年度～) 大田市住宅マスタープラン策定(令和2年度) 第2期大田市営住宅長寿命化計画策定(令和3年度)		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または、民間借上賃貸住宅の活用を図り、入居者の移転を進めていく。
第2期	2022年度 用途廃止による入居者説明会・意向調査	目標・取り組みを達成	個別に意向調査実施
	2023年度 第2～4新諸友住宅への移転を検討。空き部屋の改修を行う。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 52 年
建物延面積	497.05 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.76
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法(昭和26年法律第193号。以下「法」という。)に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法(昭和22年法律第67号)並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	250,200円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		250,200円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	3,520円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,520円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		246,680円	市民一人あたり税金充当額	8円/人
	延床面積あたり税金充当額		496円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	676円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営第4新諸友住宅		No.	97	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅				ブロック	西部		
小分類	公営住宅				地区	長久		
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内へのアクセスがやすく、今後の需要も見込まれる。また廃止予定住宅の移転先として検討しており、2019年度には、社会資本整備総合交付金の活用により、外壁改修工事を実施しており、今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
	下水接続 給湯設備改修								
評価が達成される年度		2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	第2期大田市住宅マスタープラン策定（令和2年度） 第2期大田市長寿命化計画策定		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	用途廃止による移転先住宅として改修を検討 個別修繕の実施	目標・取り組みを達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕の実施 下水接続、給湯設備設計・工事は2024年度予定		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 55 年
建物延面積	315.67 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.16
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	823,400円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		823,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	77,000円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		77,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		746,400円	市民一人あたり税金充当額	23円/人
	延床面積あたり税金充当額		2,364円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	2,045円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	新諸友集会所		No.	98
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	今後の方向性を確認してから判断する

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管
『該当する』を 選択した理由	現在、新諸友・高禅寺・高禅寺2自治会で利用している。管理を地元で行っている現状を踏まえ、地元へ譲渡することで施設の自由な利用が可能となり、メリットにもなるため、地域移管とする。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	利用状況の整理 譲渡								
評価が達成される年度		2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 平成24年度（2012）高禅寺住宅下水道接続工事にあわせ下水道接続利用状況の整理 地元利用者との協議、方針決定		地元自治会長へ説明するも、譲渡が自治会で受け入れることが難しい。交渉は継続中。解体費用も含めて試算し、再度説明会を開催する。
第2期	2022年度 新諸友自治会に地元移管の方針で再度説明を行い打診。新諸友自治会の意向を確認し、地元移管を進める。	目標・取り組みを達成	新諸友・高禅寺自治会長と移管について再度協議。新諸友自治会は譲渡の意向。高禅寺はそもそも集会所の利用は少なく、移管は受けないことでまとまった。
	2023年度 地縁団体への登録を行い。財産処分について手続きを進める。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 55 年
建物延面積	117.10 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅集会所管理要綱
設置(目的等)	集会所は、市営住宅入居者（以下「入居者」という。）の共同の福祉、厚生及び文化教養等の場として諸行事を行うために使用させるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳴滝公園			No.	154
大分類	11公園				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針	
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	保育園が散歩で訪れるなど、利用者は比較的多く、今後も必要な公園である。トイレや東屋の更新時にはニーズ等を踏まえて必要規模の検討を行う予定だが、現状程度の規模を維持する必要があると考えている。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2031年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	フェンス設置（27年度） 下水道接続（30年度） 施設の維持管理（毎年度）		今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて、施設規模等の検討を進める。概ね2023年度内には長寿命化計画の見直しに併せて、方向性を決定する予定である。
第2期 2022年度	維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
2023年度	維持管理のための必要な軽微修繕		
2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	18.46 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	都市公園法及び大田市都市公園条例に基づき設置。（S63大田西部土地区画整理事業に伴い設置）
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	54,476円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		54,476円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	4,000円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,722,820円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,726,820円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,672,344円	市民一人あたり税金充当額	-82円/人
	延床面積あたり税金充当額		-144,764円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-7,321円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩健康公園			No.	155	
大分類	11公園					
小分類	その他					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針		
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2019年度～2028年度
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由	

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	利用者が多く、必要な公園であり、今後も維持していく必要がある。施設の更新時にはニーズ等を踏まえて必要規模の検討を行う予定だが、現状程度の規模を維持する必要があると考えている。ただし、一部施設については、廃止や縮小が可能か検討をしたいと考えている。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
	関連計画に基づく維持管理							
評価が達成される年度		2051年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 シェルター更新（27年度）、花時計修繕（28年度） 遊具・屋根箱樋枯葉対策（29年度） 電気設備改修（30,2年度）、遊具修繕（2年度）		当面使用可能であり、今後も適切な維持管理を行っていく。長寿命化計画見直し時に当面の方向性を決定する予定。また、建て替え等が必要な時期までには、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえた上で、対策を実施する。
第2期	2022年度 遊具改修 維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2023年度 遊具改修 維持管理のための必要な軽微修繕		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	591.49 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	敷地内に急傾斜特別警戒区域及び急傾斜特別警戒区域あり。

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	主として市内に居住する者の休息、観賞、散歩、運動等総合的な利用に供することを目的とする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	394,024円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	300,000円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		694,024円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	512,600円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	14,435,648円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		14,948,248円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-14,254,224円	市民一人あたり税金充当額	-438円/人
	延床面積あたり税金充当額		-24,099円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-39,053円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし							
年間利用人数			5,484	4,198	3,502	2,901	2,929	3,802	77%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営行恒住宅		No.	251	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅				ブロック	中央		
小分類	市営住宅				地区	久利		
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	立地上、病院や学校など比較的によく、建設年度が市営住宅のなかでは新しく需要が見込まれる。そのため今後も維持していく必要がある							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定（H22） 大田市営住宅長寿命化計画（後期計画）H28 第2期大田市マスタープラン策定（R1）第2期大田市営住宅長寿命化計画		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	個別修繕	目標・取り組みを達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成18年
建物延面積	1,051.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	洪水浸水地域（0.5～3m）

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入	4,095,600円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		4,095,600円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	272,360円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		272,360円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		3,823,240円	市民一人あたり税金充当額	118円/人
	延床面積あたり税金充当額		3,638円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	10,475円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営みそのハイツ		No.	252	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	市営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	温泉津町内の世帯向け住宅困窮者用住宅として需要が見込まれる。2014年度に社会資本整備総合交付金を活用し、下水処理施設の整備実施。今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
個別修繕									
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定（H22） 第2期大田市マスタープラン策定（R2） 第2期市営住宅長寿命化計画（R3）		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	個別修繕	目標・取り組みを達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	839.64 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	3,177,600円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		3,177,600円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	104,660円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		104,660円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		3,072,940円	市民一人あたり税金充当額	94円/人
	延床面積あたり税金充当額		3,660円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	8,419円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営みそのハイツ		No.	253
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	今後の方向性を確認してから判断する

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	現在、定期的な利用はない。実際の管理運営をふまえ、地元自治会へ譲渡を基本にすることで考えていきたい。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	下水処理施設整備（2014） 維持管理のための修繕		今後も適切な維持管理を行い、来る時期までに譲渡・廃止の時期を検討
第2期	2022年度	利用状況の整理 譲渡廃止の時期検討	取り組みが実施できていない	利用状況の整理を行っておらず、譲渡廃止に向けて課題が整理されていない。
	2023年度	利用状況の整理 譲渡廃止の時期検討		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	82.93 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営高浜住宅		No.	254	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅				ブロック	仁摩		
小分類	市営住宅				地区	仁万		
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	仁摩町内の住宅困窮者向け住宅として、需要が見込まれる。2010年度に社会資本整備総合交付金を活用し、下水処理施設の整備を実施。今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	修繕								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定（H22） 第2期大田市マスタープラン策定（R2） 第2期大田市長寿命化計画策定（R3）		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	個別修繕の実施	目標・取り組みを達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕の実施		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	1,431.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入	4,837,300円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		4,837,300円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	79,247円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		79,247円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		4,758,053円	市民一人あたり税金充当額	146円/人
	延床面積あたり税金充当額		3,325円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	13,036円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営高浜特公賃住宅		No.	255	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	市営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	中堅所得者の家族向けの住宅として、需要も見込まれる。2010年度社会資本整備総合交付金を活用し、下水道処理の整備を実施。今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定（H22） 第2期大田市マスタープラン策定（R2） 第2期大田市長寿命化計画策定（R3）		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	個別修繕	進捗していない	設備の老朽化により修繕が必要
	2023年度	個別修繕		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成15年
建物延面積	541.47 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市特定公共賃貸住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入	2,214,000円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,214,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		2,214,000円	市民一人あたり税金充当額	68円/人
	延床面積あたり税金充当額		4,089円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	6,066円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営清石特公賃住宅		No.	256	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	市営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	中堅所得者の家族向けの住宅として、需要も見込まれる。今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定 (H22) 第2期大田市マスタープラン策定 (R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	個別修繕	目標・取り組みを達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	865.86 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	洪水浸水地域 (0.5~3m)

関連条例等	大田市特定公共賃貸住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入	4,479,000円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		4,479,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	33,132円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		33,132円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		4,445,868円	市民一人あたり税金充当額	137円/人
	延床面積あたり税金充当額		5,135円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	12,180円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	宮崎公園		No.	257
大分類	11公園			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針	
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間
				2019年度～2028年度
無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	利用者が多く、必要な公園であり、今後も維持していく必要がある。トイレや東屋の更新時にはニーズ等を踏まえて必要規模の検討を行う予定だが、現状程度の規模を維持する必要があると考えている。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づき維持管理								
評価が達成される年度		2039 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 東屋（29年度）、トイレ修繕（29,元,2年度） 下水道接続（28年度） 施設の維持管理（毎年度） 遊具改修		今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて、施設規模等の検討を進める。概ね2023年度内には長寿命化計画の見直しに併せて、方向性を決定する予定である。
第2期	2022年度	維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取り組みを達成
	2023年度	維持管理のための必要な軽微修繕	
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	69.89 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	都市公園法及び大田市都市公園条例に基づき設置。(S63大田西部土地区画整理事業に伴い設置)
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	131,472円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		131,472円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	16,720円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,090,261円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,106,981円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-975,509円	市民一人あたり税金充当額	-30円/人
	延床面積あたり税金充当額		-13,958円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,673円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	駅北公園（東屋）		No.	258
大分類	11公園			
小分類	その他			
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	あり	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針	
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間
				2019年度～2028年度
無	策定期限		今後の策定予定の有無	策定しない場合理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	比較的新しい公園施設であり、当面は更新等の予定もない。将来的に更新等が必要な時期が近付いた際は、ニーズ等を踏まえて必要規模の検討を行う予定である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期(2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2063 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	施設の維持管理（毎年度）		当面使用可能であり、今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて、施設規模等の検討を進める。概ね2023年度内には長寿命化計画の見直しに併せて、方向性を決定する予定である。
第2期	2022年度	維持管理のための必要な軽微修繕 目標・取り組みを達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2023年度	維持管理のための必要な軽微修繕	
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成20年
建物延面積	16.20 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	都市公園法及び大田市都市公園条例に基づき設置。(H12大田駅周辺西側土地区画整理事業に伴い設置)
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,930円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,930円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	552,497円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		552,497円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-550,567円	市民一人あたり税金充当額	-17円/人
	延床面積あたり税金充当額		-33,986円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,508円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	一般市営沖泊住宅		No.	259	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	市営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	温泉津町内における単身・家族用の住宅として、今後も維持していく。2011年度に社会資本整備総合交付金を活用し、下水処理施設の整備を実施。今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	修繕								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定 (H22) 第2期大田市マスタープラン策定 (R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	個別修繕	目標・取り組みを達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	181.36 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	洪水浸水地域 (家屋倒壊等氾濫想定区域) 土石流 (警戒区域)

関連条例等	大田市一般市営住宅管理条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	552,000円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		552,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	15,700円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		15,700円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		536,300円	市民一人あたり税金充当額	16円/人
	延床面積あたり税金充当額		2,957円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	1,469円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営湯里特公賃住宅		No.	260	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	市営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	温泉津町内における中堅所得者の世帯向け住宅として、需要が見込まれる。今後も維持管理していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市住宅マスタープラン策定 (H22) 第2期大田市マスタープラン策定 (R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて、住宅の管理戸数の見直しを図った。
第2期	2022年度	個別修繕	進捗していない	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2023年度	個別修繕		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	456.69 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	急傾斜地特別警戒区域 土石流(警戒区域)

関連条例等	大田市特定公共賃貸住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入	2,160,000円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,160,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		2,160,000円	市民一人あたり税金充当額	66円/人
	延床面積あたり税金充当額		4,730円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	5,918円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	柳井都市下水路排水樋門流末ゲート（機械室）		No.	261
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	その他			
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称	-	
有	計画名		計画期間	
無	策定期限	-	今後の策定予定の有無	なし
			策定しない場合理由	耐用年数・点検により修繕等を検討するため

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	◆インフラ施設扱い
『該当する』を選択した理由								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期(2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
独自								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		
第2期	2022年度		
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	26.41 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市公共下水道条例
設置(目的等)	下水道法及び河川法に基づき設置
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	一般市営宅野住宅			No.	360
大分類	10公営住宅				
小分類	市営住宅				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	仁摩
地区	宅野

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	令和4年9月30日に教育部総務課から財産引継。 仁摩町内における単身・家族用の住宅として、需要が見込まれる。個別施設計画の次回改定時に計画へ位置づけ、今後も維持していく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度	教育部総務課から財産引継及び関係条例の改正 入居者募集	目標・取り組みを達成	令和4年9月28日（9月定例議会閉会日）に教職員住宅から市営住宅に用途変更し、大田市一般市営住宅管理条例を改正。令和4年9月30日に財産引継。
	2023年度	入居者募集（全室入居決定済） 個別修繕		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	139.94 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市一般市営住宅管理条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円 ※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	227,700円	財産引継後の修繕費	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		227,700円	円 ※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-227,700円	市民一人あたり税金充当額	-7円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,627円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-624円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	